

介護保険サービス事業者(短期入所サービス・施設サービス)情報提供票 その1

記入者氏名 石井 常陽

事業所名	ケアハウス春の苑			介護予防サービス	(有) 無		
管理者名	中 登			開所年月日	平成 19 年 4 月 1 日		
運営法人名	社会福祉法人あかぎ万葉			入所定員	50 人		
サービス種別	□短期入所生活介護 □短期入所療養介護 □認知症対応型共同生活介護 □介護老人福祉施設 □介護老人保健施設 □介護療養型医療施設 □特定施設入居者生活介護						
所在地	〒270-0017 流山市東深井520-1						
連絡先	TEL	04-7178-3377		FAX	04-7178-3501		
	メールアドレス			HPアドレス	http://www.akagimanyo.com/		
資質向上のための会議	令和2年4月1日～令和3年3月31日までに 回実施						
資質向上のための内部研修	令和2年4月1日～令和3年3月31日までに 回実施 延べ参加人員 120 人						
資質向上のための事業計画	■有 (計画の公表: □有 □無)						
各種マニュアルの作成	■業務マニュアル ■事故防止・対策マニュアル ■その他 ■感染予防・対応マニュアル ■苦情相談処理・対応マニュアル						
重要事項説明書の記載事項	■施設(事業)の目的及び運営の方針 ■サービスに係る利用料 ■相談・苦情の申立て ■従業員の職種、員数及び職務の内訳 ■その他の費用の額 □ ■サービスの内容 ■緊急時の対応方法 □						
契約書の締結	■有 □無		損害賠償保険の加入		■有 □無		
苦情相談担当者の設置	■有 [担当者氏名 石井 常陽] □						
入所者数	自立	支援1	支援2	要介護1	要介護2	要介護3	合計
※施設サービスのみ記入	9人	4人	4人	20人	7人	6人	50人
職員の配置状況 (常勤換算)	医師	人	介護支援専門員	人	機能訓練指導員	人	その他
	薬剤師	人	作業療法士	人	理学療法士	人	() 人
	生活相談員	1人	管理栄養士	1人	栄養士	人	() 人
	看護職員	人 (看護師等〔助産師・保健師含む〕 人、准看護師 人)					
	看護職員の勤務体制	□24時間常駐					
居室の状況	個室	2人室	3人室	4人室	5人室	6人以上室	計
	50室	室	室	室	室	室	室
対応可能な医療処置等	□吸引 □糖尿病の管理(インスリン注射含む) □胃ろう、経管栄養の管理 □ストーマの管理 □褥瘡の処置 ■感染症の対応 ■在宅酸素 □CVポート						
看取りの対応	□対応 □非対応 □応相談						
1日当たり居室利用料(税込)	個室	円	2人室	円	人室	円	
食事の状況 ※施設サービスのみ記入	食事時間	朝食 7:30 ~ 8:30		昼食 11:30 ~ 12:30		夕食 17:30 ~ 18:30	
	選択食等の実施状況	選択食	■有(月 回) □無		行事食	■有(月 回) □無	
		バイキング	■有(月 回) □無		嗜好調査	■有(月 回) □無	
入浴の状況		対象者数	1人週回数	入浴できない場合の対応			
	一般浴	人	回	□清拭		□シャワー浴	
	個浴	人	回	□翌日入浴		□その他()	
	機械浴	人	回	□次回入浴			

介護保険サービス事業者(短期入所サービス・施設サービス)情報提供票 その2

記入者氏名 石井 常陽

シ ー ツ 交 換	定期交換 夏場月 回 それ以外の月 回					
施設内での季節行事等	■有(年 回実施) □無					
連携医療機関の状況	連携形態	□院 内 □併 設 □協 力				
	医療機関名	流山中央病院				
	診療科目	■内 科 ■外 科 ■整形外科 □精神科 ■脳神経外科 ■消化器科 ■循環器科 ■泌尿器科 □精神科 □耳鼻咽喉科 ■リハビリテーション ■皮膚科 ■眼科 □ 科				
事業所ニュース等の発行	事業所作成		法人作成	回	利用者向けパンフレット	■有 □無
ボランティアの受入	■有 □無					
外 部 と の 通 信	面会時間	時 分 ～ 時 分				
	公衆電話機の設置	■有 □無				
	家族以外の面談可否	■可 □不可				
保険給付外利用料 (1回又は1日当たり)	■食材料費	円	□レクリエーション材料費	円		
	■理美容代	円	□預り金管理費	円		
	□	円□		円		
キ ャ ン セ ル 料	□有 □無					
料 金 支 払 方 法	□現金払い ■口座振込み □その他()					
院内の医療保険適用病床数	□一般病床(床 □療養病床(床) ※介護療養医療施設のみ記入					
施 設 の 特 徴	「可能な限り在宅で生活したい。しかしそうするには、身体的、精神的に不安がある。」そうした人たちを、出来るだけ「在宅」に近い環境で、日常の基本的なサービス(食事、入浴)を提供し、高齢者のケアに配慮しつつ、自立した生活を確保及び、支援を行う。					